
編集後記

2019年12月、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が発生し、早くも2年が経ちました。COVID-19は、日本国内においても2020年1月の肺炎発症第1例以降徐々に全国に広がり、これまで5回の流行ピークと4回の緊急事態宣言を経験しました。当然のことながら、この間多くの学術集会は現地開催が中止となり、WEBでの開催や講演の動画配信を通じて辛うじて情報の発信、意見の交換が行われてきました。

今回の日本透析医会雑誌2021年36巻3号でも、本来であれば東京お茶の水ソラシティで現地開催されたはずであったCurrent Topics 2021のWEB版の内容が掲載されています。その他、COVID-19に直接関連する内容は医療安全に2題、症例報告に2題が掲載されておりますが、コロナ関連以外にも興味ある日々の診療に欠かすことのできない内容の論文が多く掲載されています。ぜひご一読ください。

この編集後記を書いている2021年11月2日現在、全国的にCOVID-19は大いに下火ですが、この日本透析医会雑誌36巻3号が発行される2021年12月末はどのような状況でしょうか？感染拡大が引き続き抑えられ、平穏で安全な日常が戻っていることを期待したいと思います。

会誌編集委員 佐藤 壽伸